

令和7年度 学校自己評価の結果

豊田市立明和小学校

本校の9教員を対象に33項目で学校自己評価を行いました。評価は、保護者アンケートと同様に、4 = とてもよい 3 = まあまあよい 2 = あまりよくない 1 = よくない の4段階で行いました。その結果、評価平均は3.24で、評価の高かった3.5以上の項目が5つありました。

項目	評価の着眼点	評価平均
学習指導	・一人一人の子どもに寄り添った個別指導ができているか。	3.6
家庭・地域連携	・地域・保護者ボランティアの活用状況や地域活性化への視点を広げているか。	3.5
特別支援教育	・子どもの理解と記録の累積を行っているか。 ・個別の教育支援計画を生かし、交流活動の状況を伝えたり、保護者と連携したりすることができているか。	3.5
安全教育	・避難訓練等の実施や日常の安全教育ができているか。 ・子どもの意識が向上しているか。	3.5
施設管理	・安全点検の実施や、危険個所の修繕等の対応ができているか。 ・備品台帳等の管理、教室・備品等の整理整頓ができているか。	3.5

「家庭・地域連携」は、保護者の皆様や地域の方が学校の要望をご理解くださり、積極的に協力してくださったことが反映されていると考えられます。「特別支援教育」についても、ご家庭の理解と協力を基盤に、保護者と学校とが願いを共有できた成果であると考えます。今後も、保護者の皆様や地域と共にある学校づくりを進めていきます。「安全教育」と「施設管理」は、関係機関や保護者と連携した多様な訓練や講習の実施と、日常的な点検・速やかな修繕の実施の成果であると思われます。一方、「学習指導」は、保護者の方の結果と大きな開きがありました。職員子どもたち一人一人を大切にされた多様な指導の一層の工夫と、教員の力量のさらなる向上に努めていきます。

次に、評価の平均が3.0以下の項目が5つありました。

項目	評価の着眼点	評価平均
生徒指導	・いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりや校内研修を行っているか。 ・予防の指導や早期発見の手立てを講じているか。 ・報告・連絡・相談等をはじめとする組織的な対応、迅速な対応ができているか。	3.0
特別活動	・一人一人の活躍の場の設定や活動の十分な計画ができているか。 ・子どもの主体性を大切にされた指導ができているか。	3.0
生徒指導	・あいさつの指導や時間を守る指導ができているか。 ・身だしなみの指導やマナーの指導ができているか。	2.9
道徳教育	・学校行事・学年行事への関連付けができているか。 ・道徳の時間や体験活動などを通して価値観を広げ深めているか。	2.9
多忙化解消	・学校全体で、多忙化解消に向けた取組を推進しているか。	2.9

「生徒指導」については、子どもたちの理解と信頼関係づくりを基盤として、あいさつや言葉遣い、相手を思いやる言動の重視により、温かい学級・学校づくりに一層努めていきたいと思えます。これは、同じくポイントの低かった「道徳教育」の改善とも密接に関係しており、日常生活の具体的場面と道徳の時間の双方で、子どもたちの心に迫る、自分事として考える道徳教育の充実を図っていきます。「特別活動」は、学校生活の多様な領域で、一人一人の得意や個性が輝き発揮される活動を、さらに工夫していきたいと思えます。